

まいづる講演会 2025.2.6 檜崎

## 性教育は子どもの権利 ・大人の義務

今日の流れ

- 1、日本の性教育について
- 2、包括的性教育について
- 3、質疑応答

### 1、日本の性教育について

日本の性教育は遅れており、近代に生きていくうえで不十分である。

なぜ？

日本の性教育の変遷

- 性道徳と純潔教育（戦後 現在まで…？）
- 「性交」なき「性教育元年」（1970年代）
- 学習指導要領「歯止め規定」の間違った解釈
- 七生養護学校事件（2003年）
- 都議会での性教育バッシング（2018年）

阻止されてきた性教育

なぜ？ なんのため？

性教育の不十分さにより何が起こるのか

- 性差別、人権侵害  
（ジェンダーギャップ、多様性の否定）
- 性加害、被害にあった場合の対応困難
- QOL、幸せな人生の後退
- ↑ 性教育が十分ならばすべて好転する

## 近代的性教育の基本

- ・性教育は  
人権の教育と科学的知識教育であり、  
道徳教育ではない
- ・命の教育（キラキラ性教育）の弊害
- ・性の多様性とは

L …レズビアン

G …ゲイ

B …バイセクシュアル

T …トランスジェンダー 自分の性に身体が合っていない

Q …クエスチョニング 自分の性がどちらか分からない

＋ …上記以外の多様な性

## SOGIE（ソジー）

- SO セクシュアル・オリエンテーション  
…性的志向、恋愛対象となる人の性
- GI ジェンダー・アイデンティティ  
…性自認、自分の性に対する認識
- GE ジェンダー・エクスプレッション  
…性表現、服装仕草、言葉遣いなどの性

## 放置・黙認されてきた負の側面 1

- ・性犯罪・性加害とは  
強姦、痴漢、セクハラ、性的いじめなど
- ・性的同意について no means no  
not yes means no





## 放置・黙認されてきた負の側面 2

- ・ アダルトビデオが与える悪影響  
同意についての間違い、身体についての間違い
- ・ 性交の3つの意味
  - ・ 生殖
  - ・ 快楽
  - ・ 支配

日本の大人は十分な性教育を受けていない



まずは自分(大人)が性について知り、考えよう

## 遠ざけられてきた正の側面

- ・ 気持ちいいのは幸せなこと (身体も、心も)
  - 快楽・共生のセックスはお互いを幸せにする
  - 自分を幸せにするためのソロセックス
- ・ 挿入だけがセックスではない
  - 大切なのは心の満足感・充足感

## 2、包括的性教育について

国際セクシュアリティ教育ガイダンス

## 「包括的」の意味

幅広い項目に及び、乳幼児期から高齢期まで人生のあらゆる時期において学ぶ意義がある、ということ。



それぞれの時期(育ち)に沿った生活の中での学びがあり、それは細切れの知識ではなく、人生の在り方にも関わるものである。周りの人(大人)との関わりでも子どもはおのずと学ぶ。

具体的には…

- ・ 性 = ネガティブイメージになるのを避けたい  
“いやらしい”ものでもない
- ・ 「プライベートゾーン」だけではダメ
- ・ 命の神秘だけでもダメ
- ・ 大人の言動全てが性教育となる
- ・ 早い方が教えやすいが、その子の育ちによって適切な時期は違う

人の身体、自分の身体に興味を持ったら

- ・ 自分や親の身体、絵本、図鑑を教材に
- ・ 偏見がないうちに教える方がやりやすい

## 性教育の方法論

純潔強制教育（結婚まではセックスしないことを誓わせ管理する教育）、ではなく、  
性の恐怖教育（リスク強調）、ではなく、  
抑制的性教育（寝た子を起こす）、ではなく、  
**包括的性教育（社会と子どもの事実・現実・真実から導き出される近代的性教育）**を。

## 時期の目安

性教育の国際ガイダンスの概要	
レベル1 5～8歳	<p>赤ちゃんはどこから来るのかを知り、自分の体の権利を学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 妊娠法、精子と卵子が結合することを知る。</li> <li>● 自分の体に、誰が、どのように触れられるかを自分で決められる権利を持つ。</li> <li>● 何が適切なタッチで、何が適切ではないタッチなのかを理解する。</li> </ul>
レベル2 9～12歳	<p>妊娠の詳しい仕組みと妊娠しないための方法を知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 身体と感情の仕組みを理解し、この両者が妊娠には必要である。</li> <li>● 性交しないことや避妊法の使用で妊娠しない妊娠を防ぐことができる。</li> <li>● 妊娠は健康的なライフスタイルの決断を要する。</li> </ul>
レベル3 12～15歳	<p>妊娠にまつわるさまざまなリスクやメディアリテラシーについて学ぶ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 避妊法はそれぞれに異なる効果率、利点、避妊期間と副作用がある。</li> <li>● 若年早産と産後ケアする出産経路に留意しリスクを減らす。</li> <li>● 性別に異なるメディアや選挙は性的に誘惑するもので、留意しなされる。</li> </ul>
レベル4 15～18歳 以上	<p>性に関する自己決定とそれに伴う責任を理解する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 子どもを持つか持たないか、いつ子どもを持つべきかを決定することができる。</li> <li>● パートナーとの同意関係の必要性を認識できなければならない。</li> <li>● 性にかかわる意思決定は、法的責任を伴う可能性がある。</li> </ul>

「あかちゃんってどうやってできるの？」  
ときかかれたら

- ・ 子どもの理解度に合わせて  
(性的理解度ではなく言葉の理解度)
- ・ 包み隠さず教えた方がいい  
絵本がオススメ

「男らしい」「女らしい」と言ってる？

- ・ジェンダーの問題を改めて考えてみる  
その他の言葉、場面でも
- ・親の影響力も使って性教育をする

子どもが性器さわりをしていたらどうする？

- ・悪いことではない（TPOは伝える）
- ・怒る、禁止するだけでは罪悪感やネガティブなイメージを植え付けてしまう  
言葉遣いに関わることも同様
- ・なぜさわることかを分析してみる  
→それによって対応も考える

幼児期伝えていきたいこと

- ・自分の身体の権利(自由)は自分が持っている
- ・自分を大切にすること  
自分を守るということ
- ・他の人も自分と同じように大切にすること
- ・感覚は人によって違い、違っていいということ

具体的なことを教えるために、  
子どもが小さいうちは絵本がオススメ



子どもがもっと大きくなったら…

- ・セックスについて
- ・多様性・差別について
- ・妊娠と避妊・性病について
- ・同意と性暴力について
- ・SNSの使い方について など

↑それまでにどれだけ知っているかでやりやすさが違う

### 3、質疑応答